

2018年度トピックス

<p style="text-align: center;">定期総会</p>	<p>札幌シニアネット17回目の定期総会が開催されました。総会時のSSN在籍者数は555名で、82名の総会参加者があり、園部理事長から、「執行部等の世代交代を図りSSN活動の継続的な発展を図る」というメッセージがありました。</p>	
<p style="text-align: center;">春・秋の 交流会 炊事遠足 中止</p>	<p>春の交流会は定期総会后、札幌第一ホテルにおいて開催し、顧問の辰巳治之様、OSS会長の斎藤博様の参加をいただき、新しい会員共々楽しいひと時を過ごしました。しかし例年9月に「滝野すずらん公園」にて秋の交流会として炊事遠足を賑やかに楽しんできましたが、5日未明から早朝にかけて「台風21号」が接近して荒れ模様となり、大きな爪痕を残しました。さらに、翌日6日未明に「胆振東部地震」が発生して北海道全域がブラックアウトとなり、中止とせざるを得ない状況となりました。（御馳走はお預けとなりました）</p>	
<p style="text-align: center;">文化祭</p>	<p>「集う喜び 心の絆」 文化祭が10月6日、7日の2日間市民活動プラザ星園2Fの3会場で開催されました。数々の出し物の熱演や演舞に称賛の拍手が送られ、笑いと感動のシーンが繰り広げられました。なかでも初日のフィナーレを飾る熱く楽しいバブリー盆踊り、2日目のOSSと合同の愉快で爆笑のロックンロールなどに格別の喝采を博しました。ファイナルステージは来場者の皆さんと合唱のコラボレーションで盛り上がり、とても温かい感動的な文化祭となりました。尚、来場者はほぼ前年並みの501名でした。</p>	
<p style="text-align: center;">新年を 寿ぐ会</p>	<p>平成三十一年睦月五日、OSS友好会員1名を含む115名の老若男女（気持ちが若いという意味）が「新年を寿ぐ会」に集いました。会員同士できるだけ多く触れ合い、仲睦まじき時間をとりたいたいの願いから、催し物は最小限に企画された内容でした。その思いは十分に伝わり、新年の初顔合わせや久々の再会の喜びなど、お互いを言祝ぐかのような笑いの絶えない会話が弾み、お開きに至ることができないのでは？と思うほど大いに盛り上がりました。今後のSSNの発展と会員各位の健勝が確信できた「新年を寿ぐ会」。令和も間違いなく佳き時代となるでしょう。</p>	

ゆきあかり
in
中島公園

地域活動部は今年も（ゆきあかり in 中島公園）の“灯りと願い”のコーナーを担当しました。会場には小さなお子様たちも参加し、紙コップに願いを書く真剣な姿もたくさん見られ、また、海外からの観光客も含めると500名以上もの来場者がありました。
SSNからはボランティアとして33名が参加し、英会話クラブの皆様も英会話を活かして大活躍でした。



平均年齢
上昇傾向

15年前のシニアネット発足当時、会員の平均年齢は65歳代でした。最新の統計を見ると74.2歳となり、10歳近く向上しています。
これをどう見るか・・・？ それは「めでたい」の一言です。人生100年時代を生きる我らシニアはよく働き、戦後の昭和・平成を平和に保ち、大きく変化するネット社会に順応し、今を生きております。
SSNが願い求めるシニア像は「高齢を生き生きと生きる」ですから。目指せ！平均年齢80歳。お互い、健康に気を付けて活動しましょう。



